

【卒後3年目教育目標】

- 1.受け持ち患者の看護の展開ができ、自己の看護観を深めることができる
 - 1)個別性・継続性のある看護を主体的に実践する
 - 2)実践にあたってリーダーシップをとる
 - 3)ケースレポートをまとめる
- 2.チーム医療の中で、リーダーの役割を理解し、実践できる
- 3.先輩としての役割を認識し、後輩に対し指導的立場にあることを理解する

回	テーマ	目的	目標	備考
1	オリエンテーション ケースレポートについて	1.年間の研修計画を理解することができる 2.ケースレポートを通して自分の看護を振り返ることができる	1.教育計画に沿った行動計画を立案できる 2.ケースレポートについて、今後の行動予定を明確にすることができる	
2	リーダーとは	1.リーダーとしての役割を果たすために必要な知識を得ることができる 2.新人看護師の特徴を理解でき、指導者としての心構えをもつことができる	1.リーダーの役割が理解でき、必要な能力について考えることができる 3.コロナ禍の新人の特徴を知り、指導者としての7つの心構えについて理解できる	
3	リーダー体験（OJT）	1.実際にリーダー体験を行ない、リーダー研修で学んだ知識を再確認できる	1.2回のリーダー体験を行なうことができる 2.リーダー体験を行ない、学んだことをレポートにまとめることができる	
4	まとめ	1.個別性を考慮した看護展開ができ、ケースレポートとしてまとめることで、自身の看護実践を振り返る 2.ケースレポート発表会の企画・運営を通して、リーダーシップや自律性を養う	1.看護実践の中から1事例をケースレポートとしてまとめ、発表することができる 2.他者の看護実践を聞くことで、自分の看護実践を振り返り看護観を深めることができる 3.進んでケースレポート発表会の企画・運営ができる	
5	ケース発表	1.1年間の研修のまとめができる 2.卒4へ向けての自己の課題を見い出すことができる	1.研修の振り返りが行える 2.卒4に向けての自己の課題や目標を考えることができる	